

市長としゃべらんで

地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長



「市長としゃべらんで」第11回目の今回は、新たに着任した「地域おこし協力隊」の2人と原井市長とのトークセッションの模様をお伝えします。

なぜ地域おこし 協力隊に？

市長 まずは地域おこし協力隊に志望した動機を、自己紹介も兼ねて真島君からお願いします。

真島 兵庫県姫路市出身で大学進学をきっかけに徳島へ来ました。バイクに乗ってツーリングをすることが趣味で、いろいろなところにツーリングに行った際に、吉野川の自然の雄大さと鴨島駅前商店街のレトロな町並みが非常に好きになりました。大学時代からSNS（人と人との交流を手助け・促進するためのインターネット上のサービス）などを使っていたので、SNSで発信できたらおもしろいんじゃないかなと思って応募をさせていただきました。

市長 ありがとうございます。今は鴨島に住んでるの？

真島 はい。鴨島に住んでいます。

市長 アパート？

真島 そうですね。

市長 鴨島の住み心地はどうですか？

真島 そうですね、勤務先（かもじま五九郎まちづくり株式会社）の方や商店街の方など地域の方が「こういうところでお買い物した方が安くすむよ」とか、いろいろと助かる情報を教えてくれるので非常に住みやすいです。

市長 なるほど。分かりました。

では次に小泉さんの志望動機をお願いします。

小泉 私は兵庫県の生まれですが、父が徳島県の出身で、父の仕事の関係で小学校低学年から吉野川市に住んでいました。

市長 確か鴨島でしたよね。

小泉 そうですね。高校までは鴨島で過ごし、大学進学をきっかけに、今まで大阪で過ごしてきました。

大阪はすごく人が多くて圧倒されていたのですが、いろいろと学ぶことも沢山ありました。ただ、私的には徳島の風土と聞いていまして、大阪にいるときは楽しいんですけど、どこか疲れてる感じがあって、徳島に帰ってくると、人もすごく優しいし「いいなあ」とって何度か帰省するうちに思いました。

仕事も大阪ではさまざまなことができたのですが、結局自分の心と体が落ち着いていた環境の方が良いと感じてたところがありまして、そういったときに友人から地域おこし協力隊の話聞いたことがきっかけでした。

将来的に、自分も起業してみたいなという思いもあり、私は感じたことを表現したりPRする活動をやってみたいと思っていましたので志望しました。

市長 SNSとか情報媒体を使って情報を発信するということですね。

小泉 はい。その町の魅力を伝えられたら一番いいと思っています。地元でもある吉野川市にしながら私自身も、特産品であるトウモロコシなど知らないことが沢山ありました。





真島 正宜氏
 ましまさのり
 かもじま五九郎
 まちづくり株式会社勤務



小泉 由佳氏
 こいずみ ゆか
 合同会社川島えがお
 倶楽部勤務



原井 敬 市長

市長 スイートコーン？
小泉 そうです。本当に美味しいですよ、甘々娘。あんなにも甘いものだといいことを知らなかったですし、生産者の方が丁寧（かんかんしゅめ）に手がけられていることを発信して、全国の方に知ってもらえたら嬉しいと思います。また、生産者の方にやりがいを感じてもらえたらと思います。
市長 仕事的にも色々と思うところもあって徳島に帰れたらなと、そういうタ

イミング的なものもあつたんですね。
小泉 そうですね。大阪では学ぶことはあつたので、今度はそれを吉野川市でどれだけ活かせるんだろうというチャレンジする感覚なんです。



本市特産品の「甘々娘」

現在、 取り組んでいること

市長 次に、地域おこし協力隊に着任して取り組んでいること、「今こんなことをやってます」など、いろいろと話してもらえたらなと思います。

真島 地域おこし協力隊として僕がメインで取り組みたいと思っていることは、鴨島駅前の中央通り商店街の間に「稲荷通り」という細い路地があるのですが、その風景がすごい良くて昭和レトロというか、その風景を活かして昔ながらの

駄菓子屋とか、そういったものを残していきたいなと思っています。「稲荷通り」の中には崩れている家屋とかもあるのでも、まずはそこからですね。

市長 入って奥がちよつと崩れてますね。右（西側）がね。

真島 はい。まずは綺麗にするところからということで、稲荷通りの清掃をやらせてもらってます。

市長 ほかに、定期的に「まちかどコンサート」とかもあるけどそのあたりも関わったりしてるのかな。

真島 「まちかどコンサート」と「吉野川マルシェ」に関わらせていただいています。最終的に鴨島駅前で「子ども食堂」をしたいということもあり、その前段階として西麻植会館で月1回「子ども食堂」を開催させてもらってます。場所が整ったら駅前でも開催したいと思っています。

市長 では次に、小泉さんが取り組んでいることをお願いします。

小泉 私が着任早々に取り組んだことはトウモロコシの販売です。

市長 地域おこし協力隊に着任したのが6月だと思うので、定期的に最盛期ですね。

小泉 そうですね。着任したときに初めてトウモロコシの発送などをさせていだいたりしましたね。後は、YouTube（動画共有サイト）を編集したり、SNS（の立ち上げなどをやらせていただきました。

市長 インスタ（Instagramの略で写真や動画メインのSNS）とかですか？

小泉 はい。川島えがお倶楽部（勤務先）で「やってみたいね」という話になって私が立ち上げてみました。

市長 川島えがお倶楽部のSNSはインスタのほかに何かあるの？

小泉 YouTube（140文字以内の文章を投稿するSNS）です。これが主に動いています。一緒に働いている方に相談しながら投稿をしています。



稲荷通り

これから 取り組みたいこと

市長 続いては、今後やってみたいこととか、取り組んでみたいことがあればお話しただけたらなと思います。

地域おこし協力隊3年目の萬川君が来年3月で任期満了になりますが、彼も鴨島で物件を借りて自分なりに仕事を起こしていくということで、新たなスタートを切る予定になっています。

地域おこし協力隊として業務の中で取り組みたいことでもいいですし、それ以降のことでもいいのですが、ここで言うことから「実現しなさい」とか、そんなのじゃないんでね。何か青写真のなものがあれば教えていただければと思います。

真島 地域おこし協力隊の任期以降になると思いますが、元々僕はバイクが趣味でよくツーリングをしているのですが、徳島にライダースカフェというのがあります。まるで「くるくる鳴門」とか板野の「道の駅」にはバイカー達がよく集まったりしていますが、実際の店舗(ライダースカフェ)にたくさん集まるというような、聖地みたいな場所がないので、吉野川市に第一店舗といいますが、バイカーが集まるようなお店を作りたいと思っています。

市長 それはイメージとしては駐車場が広くて、ライダーが気さくにバイクを停められて休めるようなそんなところですね。

真島 そうですね。

市長 そういった夢があるんですね。分りました。

吉野川市内には「道の駅」ってないんですよ。県内には神山町や阿波市だったり、以前からある「道の駅」が数箇所あって、それと最近できた「くるくる鳴門」とか、板野の「道の駅」とかね。ああいうところは確かに駐車場も広くて飲食店やお土産屋さんもありますね。

それでは続いて小泉さんお願いします。

小泉 私は天然石が好きで、少しですけど天然石の仕事もしたことがあります。石の癒やしの力が素敵で、私は癒やしを人生のテーマにしているので、石の魅力をいろんな人に知ってもらいたいと思っています。

最終的には天然石の空間でカフェをできたらいいなと思っています。石を愛でて美しさを感じながら、お茶をすすめるという、そういう和みの場所を作りたいと思っています。

市長 癒やしの空間みたいな。

小泉 そうですね。そういうのを提供できたら幸せだなと思っています。

市長 そういった分野は私、未知の領域でして、お客さまに対して、癒やしを提供するということですかね。

小泉 そうですね。私はたまたま石を通じてだったんですけど自然だったりといろいろなあると思います。

市長 なるほど。

最近、若い方でカフェをオープンしたいと考える方が多いようですね。最近でしたら徳島県内で店舗を持つのはちょっと出資金などの関係で二の足を踏むんだけども、キッチンカーとか、移動して自分の好きな時間に、例えばイベントで販売するとか、そんな話はよく聞きますね。

小泉 移動しながらっていうのはちょっと魅力的に感じますね。

そういった選択肢も含めつつ、今後は市内のいろいろな場所に、自分の足でちゃんと巡ってみて、どんな感じなのか、どんな方がいるのか見てみようかなと今感じているところです。

素直な学習者に

市長 市役所に新人の職員が入って来た時に市長講話で1時間くらい話をさせてもらっていますが、そこでも私は「素直な学習者」でありなさいという話をさせてもらっています。

「素直な学習者」ってどういう意味かというと、学習者というのは特に頭がいいとか知識が豊富とかそういう意味とは違って、例えば失敗した経験とか、人からちょっと忠告されたことや、アドバイスとかを自分なりに咀嚼して、次の場面でどう活かしていくかという、そういう意味での学習者です。

でもそういった学習者になるには素直な気持ちでなければダメなんです。いろんなものを素直に受け入れると、自分が悪いと思ったら素直に謝るとか、受け入れるとか、そういう部分が重要だと私は思っています。そんな「素直な学習者」が市役所の職員としても誰よりも一番伸びていくと私は思っています。

地域おこし協力隊として活動していく上でもいろいろあると思います。地域に



溶け込もうと思ったなら、そういう部分を大事にすると溶け込みやすいかなと思ってまして、皆さんは、着任してやる気が溢れていますので、「あれもしたいこれほしい」とってそういうことも当然あるんだけど、まずは地域に溶け込もうと思ったなら、「素直な学習者」として地域のことを吸収しながらやっていったほうがうまくいくような気がしますのでね。そういうことを大事にしながらまずは3年間頑張っていただけだと思います。

本日はありがとうございました。

真島・小泉 ありがとうございます。

